

大草谷津田生きものの里 自然観察会

トンボ博士になれるかな？

山下美佐子（東金市）

日 時：2016 年 5 月 15 日（日）10 時 30 分～12 時 天気：晴れ

参加者：37 名（大人 24 名・子ども 13 名）、指導員：2 名

担当指導員：木下順次 山下美佐子

毎年この時期大草は、たくさんのシオヤトンボが飛びます。このため、5 月の第 3 日曜観察会は、シオヤトンボの調査観察会としています。5 月の爽やかなお天気で、37 名もの親子や虫好きの大人が集まりました。ほとんどの参加者が大草観察会の常連です。まずいつもの観察会の「持ち込まない、持ち帰らない」の諸注意をして今日の観察会の始まりです。



日本は自然がとても豊かなので、トンボの種類が 200 以上もあること、トンボは夏のイメージですが、一年中いることを話し、大草で春観られる シオヤトンボ、シオカラトンボ、ニホンカワトンボ、ホソミオツネントンボについて話しました。また、トンボの生活史、ヤゴでいる期間がトンボの種類によって違うことなども話し、観察開始です。

林内では、サトキマダラヒカゲやコジャノメ、ギンツバメ、オナガアゲハなどを観察。生き物の多さにみんなわくわくです。谷津田に着き、トンボの捕まえ方、雄雌の見分け方を説明し、いよいよトンボ調査開始です。捕獲したトンボは、種類、雄雌、体長を記録し、重複してカウントしないよう、羽にマーキングをして放します。あっ という間に参加者たちはトンボを捕まえてきて、雄雌、トンボの種類などを確認して記録していきます。結果は、ほとんどがシオヤトンボで、あとはニホンカワトンボの雄雌 2 頭でした。トンボ調査後は、ヤゴ探しです。今年の夏羽化、1 年目、2 年目のオニヤンマヤゴを参加者が見つけて、さすが大草観察会で培った自然への眼力を持った参加者！ うれしい限りです。シュレーゲルアオガエルの卵塊や成体、たくさんのサワガニ、オタマジャクシ、シオヤトンボの交尾など春の生き物であふれる大草の自然を体感でき、大満足の観察会だったようでした。

トンボ調査結果		2013. 5. 19 晴	2014. 5. 18 快晴	2015. 5. 17 晴	2016. 5. 15 快晴
シオヤトンボ	オス	7	1 2	1 2	2 2
	メス	4	2	2	2
シオカラトンボ	オス	1	1	2	0
	メス	2	0	0	0